

9月1日(日)～8日(日)は、Eネット(高岡市男女平等推進センター活動登録団体ネットワーク)主催による、Eフェスタが開催されます。Eフェスタは「協働」、「生き方」、「まちづくり」等をテーマにワークショップや展示、メイン事業が行われます。ワークショップや展示への参加団体・グループを募集します。

<p>ワークショップ</p> <p>期間 9月1日(日)～7日(土)</p> <p>会場 当センター会議室</p> <p>【申込・問合せ】 Eネット 佐野さん TEL.090-8263-9799</p>	<p>展示</p> <p>期間 9月1日(日)～8日(日)</p> <p>会場 ウイング・ウイング高岡 1階交流スペース</p> <p>【申込・問合せ】 Eネット 大崎さん TEL.090-2125-3318</p>
--	---

女と男のパートナー会議

女性と男性が対等なパートナーとして、いきいきと充実した人生を送るために、今できることをいっしょに考えてみませんか。

- ◆寸劇「DVの無い明日のために 飛び出せ推進員」
富山県男女共同参画推進員氷見連絡会
- ◆講演「語り合おう！だれものつびやきが形になる市政へ」
本川氷見市長

日時：7月6日(土) 13:30～
会場：氷見市ふれあいスポーツセンター会議室
入場無料

問合せ 富山県男女共同参画推進員氷見連絡会 0766-74-3993
氷見市地域協働課 0766-74-8013
主催/ 富山県、富山県男女共同参画推進委員会 氷見市・射水市・高岡市連絡会 共催/ 氷見市、射水市、高岡市

～高岡市は男女平等・共同参画宣言都市です。

「認めあい 支えあい 共に輝くひととまち」をみんなで目指しましょう。～

高岡市男女平等推進センターの案内

高岡市男女平等推進センターは、男女平等・共同参画社会を実現するための拠点施設です。相談、講座等の開催、男女平等・共同参画をすすめるための市民活動やネットワークづくりの支援、図書の出し入れや情報誌の発行等による情報提供などを行っています。
※休館日 毎月第4月曜日・12月29日～翌年の1月3日

〈相談室〉専任相談員が、DV等いろいろな相談をうけています。
相談時間
月・火・水・金・土 9:30～16:30
木 14:00～20:00
相談室専用電話 (0766)20-1811

〒933-0023 富山県高岡市末広町1-7 (ウイング・ウイング高岡6階)
TEL (0766) 20-1810 FAX (0766) 20-1815
HP <http://www.city.takaoka.toyama.jp/gec/kurashi/kyodosankaku/center/index.html>

市民企画講座を募集

① 講座の企画を募集します
内容 男女平等・共同参画にかかわるもの
回数 1回約2時間で1～4回程度

② テーマ解決型企画を募集します
内容 市が提示するテーマに沿ったもの
テーマ 政策・方針決定過程や地域活動などでの女性の参画をすすめる
回数 1講座3回程度

どちらも
対象 市内在住か通勤、通学している個人、団体・グループ
支援内容 講師にかかる経費の一部、講師依頼等
申込期限 6月15日(土)
実施期限 平成26年2月末日



学習支援事業の活用

内容 男女平等・共同参画への理解を深めるための講座や研修などを支援
回数 年度中1回
対象 市内で活動する団体やグループ(県や市より運営補助を受けている団体、グループは除く)
支援内容 講師にかかる経費の一部、講師依頼等
申込期限 6月15日(土)
実施期限 平成26年2月末日



高岡市男女平等推進センターだより

〒933-0023 富山県高岡市末広町1-7 (ウイング・ウイング高岡6階)
tel.(0766)20-1810 fax.(0766)20-1815

E-mail: gec@city.takaoka.lg.jp
HP: <http://www.city.takaoka.toyama.jp/gec/kurashi/kyodosankaku/center/index.html>

2013 6月1日発行



「ありて」は、自分の力で問題解決していくイギリスの童話「アリエテ姫の冒険」の主人公の名前です。「私の未来は私が創る」とアリエテはいます。



雑感 ～仕事と家庭～

Eネット (高岡市男女平等推進センター活動登録団体ネットワーク)

代表 武澤 正

高岡に「演劇鑑賞会」という会員制の芝居を見る会があります。二十年ほど前、女性はお昼に観劇したいからと、有志が毎週集まり、会員を増やす相談が手弁当で始まりました。

役員になって間もない私は、会話の内容やいきいきとした声・エネルギーに圧倒されました。一年あまり後、見事に高岡文化ホールの昼と夜の公演を満席にし、その力で抱えていた千万円規模の借入金を完済してしまいました。その時の女性たちの「輝き」は、今も忘れることができませんし、男性たちに大きな勇気を与えてくれました。要求で結集する女性の力のすばらしさには、格段のものがあります。もっと確信をもっていいのではないのでしょうか。集まる場所の確保と何人かのまとめ役が成功の鍵になったのだらうと思います。

世界経済フォーラムの2012年国別男女平等(ジェンダーギャップ指数)ランキングで、日本は135カ国中101位。前年よりさらに3位下がっています。下がり続けている出生率

は、主要国では1980年後半～2000年頃に改善されたにもかかわらず、日本だけは下がりっぱなしです。働く女性の半数近くが年収200万円以下ともいわれています。「男性の子育て参加」が重視されていますが、成果主義賃金で短期間の成果が求められ、長時間・過密労働に追われ、育児にさえ参加できないのが実態です。また、世界の出生率は女性の社会進出の多い国ほど高い数値を示しています。1979年の国連女性差別撤廃条約(女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約)では、「子の養育における両親(以前は女性)の役割に留意し」と書き換えられ、以後、各国がその具体化に努力した結果、出生率の改善がもたらされたのだそうです。日本がその例外国でよいわけはありません。男女を問わず育児がしやすい労働条件の確立、賃金・雇用条件の男女差別の撤廃が必要なのではないのでしょうか。仕事と家庭が両立できる制度作りの遅れが、決定的なのだらうと思います。政府に対して「もっと本腰入れなさい」と声を上げていくことが大事だと思います。